

産業活性化グループ

1 商工業振興

(1) 中小企業振興資金

ア 申込み及び決定状況

種別	区分	申込み及び決定	
		件数 (件)	金額 (千円)
運転資金		90	388,720
設備資金		37	156,668
開業資金		18	77,800
借換資金		39	261,121
合 計		184	884,309

イ 融資及び返済状況

種別	令 和 6 年 度 末 融 資 残 高		令 和 7 年 度 貸 付 実 行 額		令 和 7 年 度 返 済 額		令 和 7 年 度 末 融 資 残 高	
	件数 (件)	運用残高 (千円)	件数 (件)	融資額 (千円)	件数 (件)	返済額 (千円)	件数 (件)	運用残高 (千円)
運転	416	1,238,035	90	388,720	70	406,975	436	1,219,780
設備	202	594,924	37	156,668	15	127,647	224	623,945
開業	49	130,972	18	77,800	2	31,012	65	177,760
借換	146	699,925	39	261,121	25	194,714	160	766,332
合計	813	2,663,856	184	884,309	112	760,348	885	2,787,817

※返済額件数は令和7年度中に返済完了した件数

(2) セーフティネット保証制度

認定状況

認 定 対 象	認 定 件 数
中小企業信用保険法第2条第5項第4号	0件
中小企業信用保険法第2条第5項第5号	0件

(3) 東日本大震災復興緊急保証制度

認定状況

認 定 対 象	認 定 件 数
東日本大震災に対処するための特別の財政援助 及び助成に関する法律第128条第1項第1号	0件

(4) 商工団体の育成及び実施状況

ア 商工会補助金

・人件費（商工会に対する補助金算定基準に基づく。）	5,187,608円
・事業費	18,414,517円
合 計	23,602,125円

イ 商工会事業実績

・経営指導員による巡回及び窓口・創業指導	939 回
・講習会の開催により行った集団及び個別指導	121 回 171 人

・経営発達支援事業

「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律」に基づき、福生市商工会経営発達支援計画の策定を行い、令和3年3月に経済産業大臣の認定を受け、管内小規模事業者の持続的な発展及び地域経済の活性化を目的に経営指導員による伴走型支援を実施した。

- ① 専門家派遣による経営課題の抽出・経営計画書策定支援
- ② 地域の経済動向調査及び小規模事業者が取扱う商品・役務の需要動向調査の分析・情報発信

・融資のあっせん

融資制度	件数（件）	金額（千円）
日本政策金融公庫	7	75,000
東京都	0	0
貯蓄共済	0	0
その他の金融機関	1	2,000

・その他

東京都の重点事業

「中小企業活力向上プロジェクトアドバンス」、「エキスパートバンク事業」等の東京都の小規模事業者向け施策に積極的に取り組み、実績を上げた。

Fの店推進事業

- ① “わくわく福生”を応援する街おこしマガジン「FUSSA PAPER Vol.22」を10,000部発行し、市公共施設、「Fの店」加盟店等へ配布した。
- ② メールマガジン「Fの店便り」を月2回配信していたが、11月からはメールマガジンを廃止し、Fの店ホームページで毎月2店舗を紹介することで、Fの店加盟店のPRに努めた。
- ③ Fの店加盟店で利用できる「商品引換券が当たるキャンペーン」としてアンケートの実施による「お客様の声」を専門家が分析し、経営改善に役立てる取組を実施した。

福生ドッグ推進事業

- ① 市内外のイベントに出店をした。また、出店に伴い「福生ドッグ」の販路開拓支援を行い、福生市の商業活性化に努めた。
- ② 福生ドッグデジタルスタンプラリーを11月17日から12月31日にかけて実施した。
- ③ 新規取扱店舗4店舗が加わり取扱店舗が14店舗となった。
- ④ 地域ブランド創出事業（新商品開発事業）として公募を行い、『地域ブランド創出事業委員会』で9月30日に1社を決定し、開発支援をする助成事業を行った。

小規模事業者経営改善資金利子補給交付事業

商工会の推薦により日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金貸付（マル経融資）を受けている一定条件を満たす市内小規模事業者に対し、利子補給として補助金を交付する事業を実施し、6件の申請があった。

利子補給率 50%
 交付期間 金融公庫の融資実行後、当初3年間
 利子補給対象 6件

住まいの省エネ・バリアフリー住宅改修等工事費助成事業
省エネ・バリアフリー住宅改修に係る工事支払額の 20%相当（限度額 20 万円分）
及び住宅改修に係る工事支払額の 10%相当（限度額 10 万円分）を助成した。
助成実績 106 件 8,000,000 円

業種別振興事業
商業部会、工業部会、建設部会、青年部、女性部の各部会等で幅広い事業を行った。

産業 PR 事業
地域特性を活かしたまち全体の産業を認知拡大するため、地域の多様なネットワークを産み出し、市内のあらゆる産業が結び付くことにより、面となった地場産業の魅力発信を行った。
第 4 回福生蔵開き
開催日時 令和 7 年 11 月 8 日
会 場 田村酒造場、石川酒造、市営福生駅西口駐車場
内 容 ・両酒蔵及び市営福生駅西口駐車場において各種見学及びイベント
・来場者巡回 デジタルスタンプラリー事業の実施
参加人数 4,809 人

2 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

青梅線沿線地域産業クラスター協議会とは、JR 青梅線・五日市線・八高線を沿線とする西多摩地域の各自治体、商工会議所・商工会及び一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA 協会）による産業支援のためのネットワーク組織。
令和 7 年度においても、「合同企業説明会（中途採用向け）」、「新入社員・中堅社員・管理職研修」、「中小企業向けセミナー」、「企業視察見学会」を実施した。

3 創業支援事業

商店街振興策として、市内商店街への創業を促進するとともに、市内の空き店舗を活用し、新たにコミュニティビジネス事業等を創業しようとする者に対し、出店に係る経費の一部を補助することにより活力ある商店街づくりの推進を図った。

福生市空き店舗活用補助金	
区 分	実 績
補助件数	6 件（家賃・備品）
補 助 額	1,835,250円 内訳 家賃補助 1,820,600円 備品費補助 14,650円

令和 7 年度においては、創業に対する機運醸成を促し、福生市での創業や創業後の定着を目的とするために、創業支援セミナーを全 5 回実施した。本セミナーを福生市認定創業支援等事業計画における「特定創業支援等事業」に位置付け、全 5 回のセミナーを受講した方に対して、登録免許税の軽減等の支援制度が適用されるようにした。

日程	場所	対象	参加人数
10 月 25 日・11 月 1 日・ 11 月 15 日・11 月 29 日・ 12 月 13 日	もくせい会館	創業予定の方 創業して間もない方	8 人

4 消費生活

(1) 消費生活相談 毎週月・水・金曜日実施

年 度	相談件数
令和 7 年度	248 件
令和 6 年度	241 件
令和 5 年度	249 件
令和 4 年度	201 件
令和 3 年度	202 件

相談件数順位 年度	1 位	2 位	3 位
令和 7 年度	運輸・通信サービス (22 件)	教養・娯楽サービス (21 件)	商品一般 (20 件)
令和 6 年度	土地・建物・設備 (24 件)	金融・保険サービス (22 件)	教養娯楽品 (21 件)
令和 5 年度	商品一般 (31 件)	運輸・通信サービス (29 件)	保健衛生品 (23 件) 金融・保険サービス (23 件) ※同率 3 位
令和 4 年度	保健衛生品 (30 件)	食料品 (16 件)	金融・保険サービス (15 件)
令和 3 年度	教養娯楽品 (20 件)	保健衛生品 (17 件)	金融・保険サービス (17 件) ※同率 2 位

※相談件数順位は、相談種別が多岐にわたるため件数の多いもの 3 位までを記載

「教養・娯楽サービス」：旅行代理業、教室、講座等に関する相談

「教養娯楽品」：スマートフォンやスポーツ用品、パソコン関連商品に関する相談等

「保健衛生品」：化粧品の定期購入に関する相談等

「金融・保険サービス」：カードローンの支払、CO₂ 排出権取引の相談等

「運輸・通信サービス」：アダルトサイト、架空請求の相談等

「食料品」：健康食品やダイエットサプリメントの定期購入に関する相談等

「商品一般」：商品やサービスの特定できない架空請求、行政機関を装ったメール等

「土地・建物・設備」：家屋や住宅設備等の修繕、マンションの売買等

(2) 消費生活啓発事業

月 日	実 施 内 容
5 月 27 日	福生市消費者セミナー 「バスツアー『お金の工場見学～お金の歴史を学ぼう』」 場所 造幣さいたま博物館 参加者 33 人
8 月 14 日	消費者防災工作セミナー 「身近な材料を使って鳥のモビール作り」 講師 伊東 静一 氏 場所 もくせい会館 2 階 202 会議室 参加者 7 人
9 月 17 日	福生市消費者セミナー 出前寄席 講師 ピン芸人かける 氏 場所 志茂二睦会館 参加者 30 人
9 月 30 日	福生市座学セミナー 「暮らしをラクに！快適に！役に立つ整理収納術①」 講師 小宮 真理 氏 場所 もくせい会館 2 階 201 会議室 参加者 22 人

10月23日	福生市消費者セミナー バスツアー「サントリー天然水 南アルプス白州工場」 場所 サントリー天然水南アルプス白州工場 参加者 31人
令和8年 1月19日	福生市・東京都共催 福生市消費者座学セミナー 講師 小宮 真理 氏 場所 もくせい会館3階会議室 参加者 21人
令和8年 1月24日	「もしもの時に役立つ！時短調理を学ぼう」 講師 瀧 鉄子 氏 場所 福祉センター 参加者 15人
随時	出前寄席

5 就業支援

(1) 就職面接会

日程	場所	対象	参加企業数	面接人数
9月17日 ハローワーク青梅共催	市民会館	全般	10社	31人

年度 \ 区分	参加企業数	面接人数
令和7年度	10社	31人
令和6年度	10社	48人
令和5年度	10社	39人
令和4年度	30社	37人
令和3年度	10社	8人

(2) 女性向けミニセミナー

日程	場所	対象	参加人数
10月17日 東京しごとセンター多摩 女性しごと応援テラス多摩ランチ共催	市民会館	全年齢・女性	37人

6 農耕地・農家戸数

(単位：a)

農 耕 地 面 積							
年度 \ 区分	水田	普通畑	果樹園	桑園	茶園	その他	合計
令和7年度	0	992	56	2	15	60	1,125
令和6年度	0	854	70	2	15	60	1,001
令和5年度	0	915	75	2	15	65	1,072
令和4年度	0	1,080	75	2	17	70	1,244
令和3年度	0	1,040	75	2	17	70	1,204

※市外農耕地を含む。

農 家 戸 数								
年度 \ 区分	5a未満	5～10a未満	10～20a未満	20～30a未満	30～40a未満	40～50a未満	50a以上	合計
令和7年度	6	15	12	7	3	4	5	52
令和6年度	6	16	13	8	3	4	3	53
令和5年度	5	18	14	7	4	5	3	56
令和4年度	2	18	14	7	5	7	3	56
令和3年度	2	18	14	8	5	8	3	58

7 経営戸数

区分 年度	そ菜経営戸数	植木生産経営戸数	花き生産経営戸数
令和7年度	47	31	10
令和6年度	50	30	13
令和5年度	53	32	12
令和4年度	56	34	14
令和3年度	58	39	14

※「植木生産経営戸数」とは、「樹木・果樹生産経営戸数」を指す。

8 草花苗生産委託

苗の種類	生産委託株数
サルビア	7,200
ペチュニア	7,200
マリーゴールド	14,700
パンジー	12,500
葉ボタン	4,900
ビオラ	12,800
合 計	59,300

9 市民農園

農 園 名	設置区画数	使用区画数	使用率	契 約 期 間
熊川武蔵野第二市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 625.00 m ²	36	36	100.0%	令和7年3月1日から 令和10年2月28日まで
熊川牛浜市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 220.00 m ²	18	18	100.0%	〃
熊川北市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 300.00 m ²	23	23	100.0%	〃
福生武蔵野市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 2,184.17 m ²	131	131	100.0%	〃
福生奈賀市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 1,000.99 m ²	83	83	100.0%	〃
熊川東市民農園 (昭和49年3月1日開設) 面積 2,330.00 m ²	186	186	100.0%	令和8年3月1日から 令和11年2月28日まで
南田園第二市民農園 (平成22年4月1日開設) 面積 248.75 m ²	17	17	100.0%	令和8年2月28日 閉園
合 計	477	477	100.0%	—
前 年 度 合 計	494	494	100.0%	—

※南田園第二市民農園は令和8年2月28日に閉園しているため合計には含まれていません。

10 多摩・島しょ広域連携活動助成金事業

福生・昭島地域の未来をつなぐ協議会

事業名	つなぐ×ミライ プロジェクト
事業内容	令和3年度より、東京都市長会多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用し、福生市・昭島市・福生市商工会・昭島市商工会と連携した協議会を発足させ、地域事業者数の維持と強化、持続的な産業振興を図っていくため事業承継支援と創業支援に取り組み、スケールメリットを活かした地域の活性化を図り持続的な事業経営を推進した。 なお、令和6年度からは市長会の助成金を活用せず、自走して新たな協議会において、セミナー等を開催した。 ① 創業支援 参集型の創業セミナーを2回（参加者：1回目 5人、2回目 4人）実施した。 ② 事業承継 事業承継について考えるきっかけを創出することを目的に、支援機関及び事業者向けセミナーを1回（参加者数：19人）実施した。 4月より毎月、事業承継個別相談会（参加者数：2人）を実施した。 当協議会は令和7年度をもって閉会した。

11 キャッシュレス決済ポイント還元事業

（1）概要

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を鑑み、福生市商工会が実施するデジタルの力を活用したポイント還元事業に対して補助金を交付し、市内での消費喚起を促し、市内事業者支援を図った。

対象キャッシュレス決済：PayPay、auPAY、d払い

（2）福生市商工会補助金

事業費（ポイント還元分）	63,705,018 円
事務費	12,183,381 円
合計	75,888,399 円